

STRUM

シュトゥルム

第 43 号

平成 31 年 3 月 31 日発行

満開の桜とともにお届けする今年度最後の Strum、お花見をすると日本人の血でしょうか、心身ともに一気に春モードになりますね。暖かさにつられてウキウキと外に出たくなる季節、伊都さんの春コンサートにぜひお出掛けください！ TRAUBEN は今年 2 月から 11 年目に入りました。新年度もマイペースですが、また皆さんと一緒に音楽を楽しみたいと思います！！

近況報告

2019 年は日本 - オーストリア友好 150 周年記念とのこと、両国間で多くのイベントが行われるそうです。オーストリアを離れてから年月がたてばたつほど、初めて訪れた外国で慣れない留学生生活を夢中で過ごしていた、ウィーン音大の学生時代の様々な出来事をふとした瞬間に鮮明に思い出すことが多くなってきたような気がします。

桜の季節になると、確か日唄友好 120 周年記念で日本から贈呈されたというドナウ川ほとりの、倒れそうなほど低く細く、驚くほど小さな白い花を咲かす 10 メートルにもならない桜並木の横で、お花見と称してビールを飲みながら目隠しをして食べ物の味を当てたり、ギターを弾いたり、ロシア人の友人が桜の枝を折ってしまって、3 国間の国交問題だと騒ぎ、ハンガリー人のオーストリアに対するちょっと屈折した愛情（オーストリア＝ハンガリー帝国 - 要は併合 - だったこと、そしてウィーンで活躍する優秀な音楽家はハンガリー出身が多いことにちなむ）を何気なく聞き、毎年楽しんでいたその場所の写真を、昨年友人が SNS にアップしていて、少し濃いピンク色の花が頭上を覆い、見事な桜のトンネルになっていることに、（桜の植え替えがあったのかもしれませんが）月日の流れを感じます。

1 年ぶりとなる Jazz Live House での演奏、個人宅のホームコンサートと続きますが、学生時代の向上心と大好きなヴァイオリンの音をもっとたくさんの人に聞いてもらえたらと願う初心を忘れずに、こつこつと演奏していきたいと思っています。【伊都】



ウィーンのイースター・マーケット
オーストリア政府観光局
公式サイトより

Ito Kanoh Spring Live 2019 at Bar Bar Bar Yokohama



春の第一弾、ジャズライブハウス Bar Bar Bar での伊都さんのコンサート！伊都さんによると… 20 日はちょうどイースターの前日なので、色合い様々な、ちょっとあまり知られていないクラシックの曲や、ピアソラの名曲、今、劇団四季でも上演中の「パリのアメリカ人」などを弾く予定… だそうです！

4 月 20 日（土） 1st 19:30 ～ 20:15 The Classic
2nd 20:45 ～ 21:30 Irish/Tango
3rd 22:00 ～ 22:30 Jazz/Gypsy 入れ替えなし

*Open 18:00

Piano：近藤紗織

Music Charge：3,800 円（税別）

Table Charge：500 円（税別）予約すると Table Charge は無料

予約：<https://www.barbarbar.jp/>

045-662-0493

Bar Bar Bar 横浜市中区相生町 1-25

Zephyr “そよ風”コンサート

5月26日(日) 13:15 開演

コンサート終了後 懇親パーティー

Violin : 加納 伊都

Piano : 松尾 典子

ベートーヴェン : ロマンズ第1番

イザイ : 無伴奏ヴァイオリンソナタ第6番

サン＝サーンス : 白鳥

サラサーテ : ツィゴイネルワイゼン 他



雄大な丹沢山系の麓にある個人宅のホームコンサートですが、どなたでもご参加いただけます。大自然の中、5月のそよ風を感じてみませんか？

会場 足柄上郡松田町 寄(やどりぎ) 毛利様宅
電車: 小田急小田原線 新松田駅 または JR 御殿場線 松田駅よりバス
車: 東名高速 大井松田インターより約20分

会費 5,000円 (懇親パーティー費含む)

お申し込み・詳細 info@itokanoh.com
または、加納伊都ホームページよりお問い合わせ下さい



DVD Classic Collection

作品 No.36

「オーケストラ・クラス」

音楽が子供達の心と未来を変えた

2017年 フランス



あらすじ

職にあぶれた中年ヴァイオリニストのシモンは、パリ19区にある小学校の6年生の子供達にヴァイオリンを教えることになるが、喧嘩ばかりするやんちゃな子供達に、生真面目なシモンは途方に暮れる。そんな中、アフリカ移民の少年アーノルドに才能を見出し、アーノルドはヴァイオリンに夢中になっていく。クラスの子供達も次第に打ち解け、練習をするようになる。

見どころ

音楽に触れる機会の少ない子供達に楽器を贈呈してプロの音楽家が教える、フランスに実在する音楽教育プロジェクト「Demos」。参加した生徒の約半数がその後も音楽を続けるという成果を上げているようだ。映画で、演奏会の舞台となったフィルハーモニー・ド・パリは、2015年オープンの最新音響設備の、斬新な巨大コンサートホール。第74回ヴェネチア国際映画祭特別招待作品。

感想

ありがちなストーリーだと思ったが、そこはフランス映画、地味に淡々と話が進み、見る側に感動を強要しないところが、却って感動を呼ぶのかもしれない。一年後の演奏会のために練習する曲目が何故か、リムスキー＝コルサコフの「シェエラザード」と渋い！（きらき星じゃない）。貧富に関係なくチャンスが与えられるのはさすが、自由、平等、博愛の国。

*DVDはTSUTAYAの店舗でレンタル可能な作品のみをご紹介します

編集後記 六本木ミッドタウンの桜並木と、帰りの車窓から目黒川の桜を観ました。大阪出身の私は昔、関東に来て驚いたのがお花見の方法。大阪では、造幣局の「通り抜け」に代表されるように、お花見は桜並木を散歩するものだったのに対して、関東では、上野公園のような、桜の下での大宴会にビックリ！関西人よりお行儀がいいはずなのに何で？と思ったものでした。／桜の種類の好みも違ってきます。ソメイヨシノの、パツと咲いて散り際の良さを愛でる武士文化の江戸に対して、華やかな色で長く咲く八重桜が好きな浪花商人。／また、こちらの、春を心待ちにする寒い気候も、宴で開花を喜ぶ理由かもしれません。／あれ？ミッドタウンも目黒川も通り抜け方式？あの入出ではシートを敷く場所もないですものね。〈ゆ〉

発行: 加納伊都後援会 TRAUBEN
〒231-0835 横浜市中区根岸加曽台 15
TEL: 045-622-6780
FAX: 045-621-6423
Email: trauben@itokanoh.com
Homepage: itokanoh.com